

日本語課外補講報告（2011年4月～2012年3月）

濱田美和

1 はじめに

日本語課外補講は、富山大学に在籍する外国人留学生及び外国人研究者であれば誰でも受講できるプログラムである。日常生活や大学での学習・研究活動に必要な日本語の習得を目指して、初級、中級、上級の3つのレベル別クラス、及び、中級・上級クラスの共通科目「漢字」を開講している。2011年度は、前期（2011年4月～9月）と後期（2011年10月～2012年3月）にそれぞれ15週間開講した。

以下、2011年度の日本語課外補講の実施状況について報告する。なお、2005年10月に富山大学（五福キャンパス）、富山医科薬科大学（杉谷キャンパス）、高岡短期大学（高岡キャンパス）の3大学が再編・統合したことにより、富山大学で実施されている日本語課外補講は、五福キャンパスにおいて留学生センターが実施するものと、杉谷キャンパスにおいて医学部所属の日本語・日本事情担当教員が中心となり実施するものとの2つとなったが、本稿では、五福キャンパスで留学生センターが実施している日本語課外補講について報告する。

2 受講者

前期は、初級クラスが7人、中級クラスが10人、上級クラスが21人（うち3人は中級クラスも同時に受講）、計35人が日本語課外補講を受講している。35人の在籍身分別の内訳は、大学院生12人、研究生11人、特別聴講学生6人、特別研究学生、科目等履修生（県費留学生）各2人、日本語・日本文化研修留学生、外国人研究者各1人となっている。国・地域別の内訳は、中国26人、ロシア3人、韓国2人、インド、タイ、バングラデシュ、モルドバ各1人となっている。また、所属別の内訳は、経済学部10人、理工学教育部9人、人文学部7人、工学部、経済学研究科各3人、生命融合科学教育部2人、人間発達科学部1人となっている。

後期は、初級クラスが8人、中級クラスが9人、上級クラスが31人、計48人が日本語課外補講を受講している。48人の在籍身分別の内訳は、研究生12人、大学院生18人、特別聴講学生10人、特別研究学生3人、科目等履修生（県費留学生）2人、学部生、日本語・日本文化研修留学生、外国人研究者各1人となっている。国・地域別の内訳は、中国33人、韓国6人、ロシア3人、インド、インドネシア、エジプト、ベトナム、モルドバ、台湾各1人となっている。また、所属別の内訳は、理工学教育部各14人、人文学部9人、経済学部7人、工学部4人、人間発達科学部、人文科学研究科、経済学研究科各3人、理学部、芸術文化学部、人間発達科学研究科、医学薬学教育部、富山発先端ライフサイエンス若手育成拠点プログラム（テニューアトラック）採用者各1人となっている。

なお、日本語・日本文化研修留学生、及び、協定校からの短期留学生については、日本語課外補講上級クラスで開講している科目を、総合日本語コースの科目として受講している（詳細は、総合日本語コース報告、短期留学生報告を参照）。

3 授業担当者

前期、後期ともに、センター専任教員4人（加藤扶久美、後藤寛樹、副島健治、濱田美和）、及び謝金講師（日本語研修コースとの合同授業については非常勤講師）9人（遠藤祥子、加藤敬子、高島智美、中河和子、永山香織、藤田佐和子、松岡裕見子、要門美規、横堀慶子）が授業を担当した。前期、後期ともに濱田美和がコーディネートをを行った。

4 授業日程

前期は4月11日(月)～7月29日(金)を授業期間とした。後期は10月11日(火)～2月10日(金)を授業期間とした。12月22日(木)～1月4日(水)は冬季休業,1月13日(金)は大学入試センター試験準備日のため、休講とした。また、曜日調整のため、1月10日(火)は月曜日の授業を行った。

オリエンテーションは、前期は4月7日(木)、後期は10月5日(水)に開催した。前期は専任教員5人(出原節子, 加藤扶久美, 後藤寛樹, 副島健治, 濱田美和), 後期は専任教員4人(加藤扶久美, 後藤寛樹, 副島健治, 濱田美和)がオリエンテーションを行った。オリエンテーションの案内は、留学生センターのホームページに掲載する他、日本語、英語、中国語の3カ国語表記で作成したポスターを五福キャンパス内の各学部及び留学生センター談話室に掲示し、また、学期初めに発行される留学生センターニュースの掲示板でも紹介した。留学生センターのホームページでは、時間割や授業概要(日本語、英語、中国語版を用意)の閲覧、それから、受講申請書とふりがな入りの時間割もPDFファイルとしてダウンロードできるようになっている。オリエンテーションでは、受講希望者一人一人とセンター専任教員が面接し、受講者の日本語の習熟度に応じたクラスを紹介し、受講申請書の提出により、登録を行った。ただし、来日時期が遅れる学生等については、コーディネーターが面接を行った上で、開講期間の途中からの受講も認めた。

5 授業内容

5.1 時間割

前期、後期ともに週32コマ授業を行った。前期の時間割を表1、後期の時間割を表2に示す。

表1 2011年度前期 日本語課外補講時間割

曜	限	初級クラス	中級クラス	上級クラス	
月	1		文法(加藤敬)	文法A(高畠)	
	2	生活日本語(加藤扶)	文法(加藤敬)	文法A(高畠)	表現技術1(濱田)
	3		語彙・表現(加藤扶)	[中級・上級クラス共通]漢字1(高畠)	
火	1		文法(要門)	聴解(濱田)	
	2		文法(要門)	会話(副島)	会話1(松岡)
	3		聴解(濱田)		作文1(松岡)
	4				読解A1(藤田)
水	1		文法(横堀)	文法A(中河)	
	2		文法(横堀)	文法A(中河)	
	3		文字・漢字(加藤扶)		日本文化1(中河)
木	1		文法(高畠)	文法B(副島)	
	2	生活日本語(要門)	文法(高畠)	文法B(副島)	
	3				聴解1(要門)
	4				文法1(要門)
金	1		文法(永山)	文法B(松岡)	
	2		文法(永山)	文法B(松岡)	読解B1(遠藤)
	3		会話(後藤)		

* 1限 8:45～10:15, 2限 10:30～12:00, 3限 13:00～14:30, 4限 14:45～16:15

* 網掛けの授業科目は、日本語研修コースとの合同授業

表2 2011年度後期 日本語課外補講時間割

曜	限	初級クラス	中級クラス	上級クラス	
月	1		文法(加藤敬)	文法A(高島)	
	2	生活日本語(加藤扶)	文法(加藤敬)	文法A(高島)	表現技術2(濱田)
	3		聴解(加藤扶)	[中級・上級クラス共通]漢字2(高島)	
火	1		文法(要門)	聴解(加藤扶)	
	2		文法(要門)	会話(副島)	会話2(松岡)
	3		語彙・表現(藤田)		作文2(松岡)
	4				読解A2(藤田)
水	1		文法(横堀)	文法A(中河)	
	2		文法(横堀)	文法A(中河)	
	3		文字・漢字(加藤扶)		日本文化2(中河)
木	1		文法(高島)	文法B(副島)	
	2	生活日本語(要門)	文法(高島)	文法B(副島)	
	3				聴解2(要門)
	4				文法2(要門)
金	1		文法(横堀)	文法B(松岡)	
	2		文法(横堀)	文法B(松岡)	読解B2(遠藤)
	3		会話(後藤)		

* 1限 8:45～10:15, 2限 10:30～12:00, 3限 13:00～14:30, 4限 14:45～16:15

* 網掛けの授業科目は、日本語研修コースとの合同授業

5.2 初級クラスの授業内容

前期、後期ともに、月曜日から金曜日まで毎日午前中2コマ連続で「文法」の授業と、午後に「聴解」、「会話」、「文字・漢字」、「語彙・表現」の授業を各1コマ行った。また、毎日日本語の授業に出席することが困難な受講者のために、「生活日本語」の授業を週2コマ(月曜日と木曜日の2限)設けた。

週10コマの「文法」の授業では、『みんなの日本語 初級』I, II(スリーエーネットワーク)をメインテキストとして、教科書を1日1課ないしは2日に1課のペースで初級文型の導入及びその定着のための練習を行った。授業の最初に、『毎日の発音練習』(独自開発教材)を用いた発音練習も適宜取り入れた。

表3 初級クラス「文法」(『みんなの日本語 初級』)の授業進度

第1週	1課～4課		第9週	30課～32課	
第2週	5課～7課	1課～6課試験	第10週	33課～35課	26課～32課試験
第3週	8課～11課		第11週	36課～38課	
第4週	12課～14課	7課～12課試験	第12週	39課～41課	33課～38課試験
第5週	15課～18課		第13週	42課～45課	
第6週	19課～22課	13課～18課試験	第14週	46課～48課	39課～45課試験
第7週	23課～26課		第15週	49課～50課	日本語能力試験
第8週	27課～29課	19課～25課試験		復習	3級模擬試験

「聴解」の授業では、『毎日の聞き取り50日』上,下(凡人社),『絵とタスクで学ぶ日本語』(凡人社),『わくわく文法リスニング99』(凡人社),『楽しく聞こう』I,II(凡人社),『日本語きいてはなして』Vol.1, Vol.2(ジャパントイズ),『Situational Functional Japanese』Vol.1, Vol.2, Vol.3(凡人社),

『みんなの日本語初級 聴解タスク 25』(スリーエーネットワーク)のCDやテープを用い、初級クラス「文法」(『みんなの日本語 初級』)の授業進度に合わせて、聴解練習を中心に行った。

「会話」の授業では、午前の「文法」の時間に学んだ文法事項を使って、特に話す力を身につけるための応用練習を行った。

「語彙・表現」の授業では、午前の「文法」の時間に学んだ語彙や表現をより正確に理解し、正しく使えるようになるための練習を中心に行った。

「文字・漢字」の授業では、『ストーリーで覚える漢字 300』(くろしお出版)をメインテキストとして、1日の授業で1課進むペースで、ひらがな、カタカナ、漢字の読み書きの練習を中心に行った。

週2コマの「生活日本語」の授業では、『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』I(講談社インターナショナル)をメインテキストとして、1日の授業で1課進むペースで初級文型の導入及び会話力を伸ばすための練習を中心に行った。

なお、前期については、「文法」の受講者が少なかったため、日本語研修コースの「文法」に日本語課外補講の学生も参加できるようにして、火曜午前「文法」の授業の一部を「生活日本語」の受講者が参加できるような内容に変更した。

5.3 中級クラスの授業内容

前期、後期ともに、午前中週2日2コマ連続で「文法A」と「文法B」の授業を行い、1日は「聴解」と「会話」の授業を各1コマ行った。

「文法A」の授業では『ジェイ・ブリッジ』(凡人社)をメインテキストとして、3日(6コマ)の授業で1課進むペースで、中級の文型や表現を導入し、それらを大学生生活で遭遇する場面や様々なトピックに合わせて、運用できるよう談話練習なども行った。一方、「文法B」の授業では『日本語中級J 301』、『日本語中級J 501』(スリーエーネットワーク)をメインテキストとして、『日本語中級J 301』は1日(2コマ)の授業で1課進むペース、『日本語中級J 501』は2日(4コマ)の授業で1課進むペースで、それぞれ中級の語彙や文法事項を導入し、主に読解の力を伸ばすための練習を行った。

「聴解」の授業では、前期は『日本語生中継・初中級編』1, 2(スリーエーネットワーク)、後期は『毎日の聞き取り 50日 中級』上, 下(凡人社)、『新・毎日の聞き取り 50日 中級』上, 下(凡人社)を用い、中級の語彙や表現を確認しながら、聴解練習を行った。

「会話」の授業では、「文法」の授業でのメインテキスト『日本語中級J 301』、『日本語中級J 501』を部分的に用いて、話し合いの練習やプレゼンテーションの練習を中心に、大学生生活や日常生活で出会う場面に応じた日本語を使って、適切に話すための練習を行った。

5.4 上級クラスの授業内容

前期、後期ともに、「読解」の授業を週2コマ、「作文」、「聴解」、「会話」、「文法」、「表現技術」、「日本文化」の授業をそれぞれ週1コマ行った。上級クラスの授業は、2期連続して受講する学生のために、以前から前期と後期で扱うテーマや教材等を変えて対応していたが、平成22年度より前期は科目名の末尾に「1」、後期は「2」を付けて、それぞれの違いを科目名でも表すことにした。ただし、授業目的や進め方等の授業概要は同じであるため、以下、まとめて報告する。

「読解」の授業は、「読解A」と「読解B」の2科目を設け、「読解A」は『生きた素材で学ぶ 中級から上級への日本語』(ジャパントイムズ)をメインテキストとし、発音の指導、表現や文型練習なども取り入れながら読解練習を行った。学期ごとに教科書の奇数ユニット、偶数ユニットに分け、2期続けて受講すると、教科書を全て終えられるようになっている。「読解B」は、専門書の他に、現代日本社会の問題を扱った新聞記事、文学作品、教養書などの生教材を利用し、初めに論理構成を把握させ、効率的な読みの練習を心がけた。ブックレポート作成の練習も行った。

「作文」の授業では、コンピュータを使用しながら、レポートや論文を書く際に必要となる論理的な文章の書き方の練習を行った。『留学生のための論理的な文章の書き方』(スリーエーネットワーク),『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)等を参考書とし、練習問題等はワープロ文書で提供した。

「聴解」の授業では、日本語の聴解教材とあわせて、テレビやラジオ、インターネットなど、様々なメディアを用いて、大学生活や日常生活に必要な聴解練習を行った。

「会話」の授業では、ロールプレイ等の会話練習等を通して、大学生活や日常生活で出会う場面、状況での会話を伸ばす練習を行った。また、様々なトピックについて日本語で的確に説明・描写する練習、意見や感想を述べる練習を行った。

「文法」の授業では、前期は『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク)、後期は『日本語能力試験N1・N2 試験に出る文法と表現』(桐原書店)をメインテキストとし、大学での学習、研究生生活に必要な上級レベルの文法・表現について、演習形式で確認した。日本語能力試験の受験対策もあわせて行った。

「表現技術」の授業では、目上の人とのやりとりや、不特定多数の人に対して情報発信する際に必要となる、フォーマルな場で用いられる日本語の表現を確認した後、メールやメモなど日常的・実用的な文章の書き方やプレゼンテーション・スライドを利用した口頭発表の練習を行った。

「日本文化」の授業では、テレビ番組、アニメ映画、漫画、新聞・雑誌記事、自治体広報などの様々なメディアを使用して、震災と日本、日本の中の外国人、ジェンダー、ポップカルチャーといった視点から現代日本社会の問題を考えた。

5.5 中級・上級クラス共通科目「漢字」の授業内容

「漢字」は、中級・上級クラスの共通科目として、前期、後期ともに週1コマ授業を行った。教科書には『漢字1000PLUS INTERMEDIATE KANJI BOOK』Vol.1, Vol.2(凡人社)を使用した。非漢字圏の学生には、読み方、書き方及び意味・用法の全体的な指導を行い、漢字圏の学生には、読み方と意味・用法の確認を中心に、様々な話題について書かれた文章を読み、そこで用いられている漢字語を学ぶことで、更なる語彙の拡充を図った。クラスには異なるレベルの学習者が混在しているため、一斉授業ではなく、時間を区切ってそれぞれのレベルに合わせた指導を行っている。

6 試験

初級クラス「文法」、「聴解」、「会話」では、7回の定期試験を実施した。定期試験の内容は、筆記試験、聴解試験、会話試験で、いずれの試験も日本語研修コース初級クラスと同じものを使用した。初級クラス「文字・漢字」では、毎回の授業で確認テストを実施した。中級クラスでは、「文法A」は2回の定期試験、「文法B」は3回の定期試験、「聴解」は期末試験を実施し、「会話」は授業中に発表を課した。上級クラスでは、「読解A」、「会話」、「文法」は期末試験を実施し、「読解B」、「作文」、「聴解」、「表現技術」、「日本文化」は期末レポートあるいは発表を課した。中級・上級クラスの共通科目「漢字」では毎回の授業での確認テストと2回の定期試験を実施した。

7 授業評価

日本語課外補講の受講者に対して、授業内容とカリキュラムに関するアンケート調査を前期と後期の授業期間中に実施した。授業内容に関するアンケートはクラス別に集計し、カリキュラムに関するアンケートは回答者全員分をまとめて集計した。

授業内容に関するアンケートは、いずれのクラスにおいても、基本的には科目ごとに実施したが、同一の教科書を使用した科目(初級クラス「文法」、「聴解」、「会話」、「語彙・表現」)についてはまとめ

て実施した。

以下、表4に前期初級クラス、表5に前期中級クラス、表6に前期上級クラス、表7に後期初級クラス、表8に後期中級クラス、表9に後期上級クラスの授業内容のアンケート集計結果をまとめた。授業内容に関するアンケートでは、中級、上級クラスについては、1人の学生が複数の授業科目に答えているため、括弧内の人数はいずれも延べ人数を表す。評点は5段階評価で、値が大きいほど良い評点であることを示す。「とてもよかった」を5点、「よかった」を4点、「ふつう」を3点、「あまりよくなかった」を2点、「ぜんぜんよくなかった」を1点として、その平均点を出したものである。

カリキュラムに関するアンケート調査は、1人の学生が1回のみ回答することになっている。表10に前期、表11に後期の結果をまとめた。

なお、自由記述については一部英語での回答もあったが、筆者が日本語に翻訳した。また、日本語の表記や助詞等の間違いは修正して掲載した。

表4 前期初級クラスの授業内容についてのアンケート結果（回答者5人）

質問項目（回答者数）	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった（3人） よかった（2人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.6	
2. 授業のレベル とてもよかった（3人） よかった（2人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.6	
3. 授業の進度 ちょうどよかった（1人） よかった（3人） ふつう（1人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.0	・少し遅かった。（『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』）
4. 教科書・プリント とてもよかった（2人） よかった（3人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.4	
5. 教え方 とてもよかった（3人） よかった（2人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.6	

6. どのくらい出席したか 80%～100% (3人) 60%～80% (2人) 40%～60% (0人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	-	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (3人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (0人) ・その授業に興味なかったから (0人) ・その他 (1人): ひどい雨のため
7. 予習・復習をしたか かなりした (1人) すこしした (3人) ぜんぜんしなかった (1人)	-	・テストが多いですから。(『みんなの日本語』)

その他

- ・火曜日に追加の練習クラスがあったことは、日本語を始めたばかりの学生にとってとても良かった。(『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』)
- ・時間があたら、次の期も出席したい。(『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』)
- ・先生は熱心だし、まじめだし、経験も多くて、私たちは楽しいです。(『みんなの日本語』)
- ・4か月の間、いいことを学んで、親切な先生たちに学びました。今後とも熱心に勉強して日本語で話します。(『みんなの日本語』)

表5 前期中級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 16人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (11人) よかった (5人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	・おもしろいと思います。(文法A) ・日常会話が良かったです。とても便利です。本当に役に立つと思います。(聴解) ・いろいろな漢字を勉強しました。本当におもしろかったです。漢字が大好きです。中国語で漢字がありますけど、たくさん違うところがあるから、勉強してから、本当に役立つと思います。(漢字)
2. 授業のレベル ちょうどよかった (10人) よかった (5人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	
3. 授業の進度 ちょうどよかった (10人) よかった (4人) ふつう (0人) あまりよくなかった (2人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	・ちょっと速いですが、どんどん慣れました。(文法B) ・速すぎた。(文法B) ・速すぎた。(文法B)
4. 教科書・プリント とてもよかった (10人) よかった (6人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	・中国語の漢字とすごく違うところが難しかった。あまり覚えられなかった。ちょっと苦しかった。(漢字)

5. 教え方 とてもよかった (11人) よかった (5人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	・ありがとう。(文法A)
6. どのぐらい出席したか 80%～100% (10人) 60%～80% (5人) 40%～60% (1人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (2人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (2人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (4人)：一時帰国のため
7. 予習・復習をしたか かなりした (3人) すこした (13人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	・勉強になりました。本当に役立つと思います。また勉強したいです。(漢字)

その他

- ・勉強になりました。たくさん初級で勉強した文法が使えるようになりました。先生に感謝しています。(文法A)
- ・一学期の勉強でとても楽しかったです。いろいろな知識を勉強しました。また受けたと思います。(文法B)
- ・会話はおもしろかったです。(会話)

表6 前期上級クラスの授業内容についてのアンケート結果(回答者53人)

質問項目(回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (28人) よかった (24人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の時は結構むずかしかったです。だんだん慣れました。(読解A) ・いろんな知識を学びました。(読解A) ・授業で面白いテーマが出ました。とても勉強になりました。(読解B) ・元々あきらかでなかった知識が授業を通してあきらかになった。(作文) ・以後の論文, 研究計画書の書き方に大きな影響を及ぼして, いい授業と思います。(作文) ・授業で面白いテーマが出ましたから, とても興味深く, 勉強になりました。多方面で知識を増やすことができました。(聴解) ・日本のすばらしい風景や, あきらめない姿勢などがわかるようなビデオをいっぱい見ることができてよかった。(聴解) ・ビデオを見たり, 練習問題をやったりして, とても楽しかったです。(聴解) ・日本の文化についていろんなビデオを見て, とても勉強になりました。(聴解) ・日本のドラマ, アニメについて聴解を練習したいです。(聴解) ・日本の文化及び日本の社会のテーマのビデオを見て, いい勉強になりました。(聴解) ・映画などを見ればもっといいと思います。(会話) ・基本文法の勉強も難しい文法の勉強もする必要があると思います。(文法) ・授業の内容は大変興味深く, とても勉強になりました。(表現技術) ・内容はよかったけど, なかなか覚えられなかった。(表現技術)

		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容はいつもおもしろかったです。ていねいな話し方を勉強して、日本での生活がもっと安心して送れるようになったと思います。(表現技術) ・多方面から考える練習ができてよかった。(日本文化) ・日本の歴史、茶道などの文化が勉強したいです。(日本文化) ・日本の政治、文化にすごく興味を持つようになりました。テレビ番組を見ながら、討論する形式が最高だと思います。そして、ニュースに興味が生じるようになりました。(日本文化) ・現在日本で流行する話題について勉強して、自分の意見を述べる機会もあって、とてもよかったと思います。(日本文化) ・日本に関する文化や今まで知らなかった知識などを勉強しました。とてもよかったです。(日本文化) ・日本文化といっても、古くて伝統的な文化でなくてよかったと思います。現代の日本文化に触れるチャンスが少ないですから。(日本文化) ・とても勉強になりました。(漢字) ・日常生活で使う漢字を勉強したいです。(漢字)
2. 授業のレベル ちょうどよかった (35人) よかった (16人) ふつう (2人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと高かったですけど、頑張れば、大丈夫になりました。(読解A) ・予習する時間があれば、そんなに難しくない。(読解A) ・まだまだ知らない単語もいっぱいありますが、その単語を覚えるきっかけになってよかった。(聴解) ・ちょうどよかったと思います。速さも内容も。(聴解) ・聴解が弱いですから、もしテレビ番組の話す内容が授業の後で配られるとうれしいです。(日本文化)
3. 授業の進度 ちょうどよかった (31人) よかった (17人) ふつう (5人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうどいいと思います。(読解A) ・ちょうどいいです。(読解A) ・常に時間がたりないと思います。(日本文化) ・聴解の時はちょっとペースが速いと思います。(日本文化)
4. 教科書・プリント とてもよかった (30人) よかった (21人) ふつう (2人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な教材でした。(読解A) ・中級の本としてはいいです。(読解A) ・多方面から知識を深めました。(聴解) ・教材がもっと詳しくいいと思います。(日本文化)
5. 教え方 とてもよかった (37人) よかった (16人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・先生はとてもまじめでした。(読解A) ・わかりやすいです。(読解A) ・実際に作文を完成してから、先生と相談しながら訂正したほうがもっといいと思います。(作文) ・先生はとても親切です。教え方も分かりやすかったです。(作文) ・レポートを書く方法をいろいろ教えていただき、ありがとうございました。(作文) ・先生はとてもやさしくて、分かりやすく教えてくださいました。(聴解) ・熱心でやさしくて、とてもよかったと思います。(聴解) ・先生がお菓子とかを紹介してくれたことは非常におもしろかったです。(聴解) ・先生の教え方はすごく面白いです。(日本文化) ・いろんな媒体を通じて勉強する形式はいいと思います。(日本文化) ・ダイナミックな教え方に目を引きつけられました。(日本文化)

6. どのぐらい出席したか 80%～100% (45人) 60%～80% (7人) 40%～60% (0人) 20%～40% (1人) 0%～20% (0人)	-	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (9人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (4人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (0人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (24人) すこしした (27人) ぜんぜんしなかった (2人)	-	・難しかったので、最初から復習しなければならない。後は慣れました。(読解A) ・忙しいので、予習する時間はあまりなかったです。(読解A) ・復習を通してたくさんの単語が覚えられました。(聴解) ・色々な知識を身につけるため、復習は大切なことだと思います。(日本文化) ・授業の中で発表がある場合は予習します。でも、復習はあまりしません。(日本文化) ・自分ではすごくがんばったと思っています。(漢字)

その他

- ・もっと勉強したいと思います。(読解A)
- ・人が少ないので、授業中はおもしろくない。授業中にゲームをしたいです。(読解A)
- ・私にとってこの授業はとてもおもしろかった。テキストの内容が興味深く、日本語のレベルとしてもちょうどよかったと思う。能力試験の準備もかなりできたと思う。(読解B)
- ・先生、ありがとうございました。内容も教え方もとてもよかったです。おかげさまでJLPTの読解の時、時間にまに合いました！(読解B)
- ・前期も後期も聴解は私にとって一番楽しみにしていた一番おもしろい授業でした。先生、どうもありがとうございました。また、身につけた知識は日本語能力試験にとっても役に立ったと思う。(聴解)
- ・すごく面白くて、興味深い授業でした。大好きです！(聴解)
- ・会話の授業を通し、ほかの学生たちと友情を結ぶことはいいですね。(会話)
- ・先生の教え方も教科書もとてもよくて、勉強になったと思う。(文法)
- ・授業の前の先生との相談がおもしろいです。いろいろ勉強になりました。(日本文化)
- ・一年間この授業を取って、日本についていろいろ勉強して、本当にいい勉強になりました。(日本文化)
- ・授業で使っている教科書も先生の教え方もとてもよかったです。自分で漢字を書けるかどうかはともかく、少なくとも漢字の内容や読み方にもっと詳しくなって、うれしいです。(漢字)
- ・先生、いつもこの授業を受ける時に感じるんですけど、本当に実力が向上するのが自分自身にも見えます！とても良い授業だと思います。(漢字)

表7 後期初級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者5人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (4人) よかった (1人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.8	・先生はとても親切です。授業は楽しいし、おもしろい。本当にいいですね。(『みんなの日本語』)
2. 授業のレベル とてもよかった (4人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	5.0	・先生の日本語、とてもすごいですね。(『みんなの日本語』)

3. 授業の進度 とてもよかった (4人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	5.0	
4. 教科書・プリント とてもよかった (4人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	5.0	
5. 教え方 とてもよかった (4人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人) 無回答 (1人)	5.0	・いろいろな先生の教え方が違います。でも、おもしろいです。 (『みんなの日本語』)
6. どのぐらい出席したか 80%～100% (3人) 60%～80% (1人) 40%～60% (0人) 20%～40% (1人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (3人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (1人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (2人)：会議、試験の準備
7. 予習・復習をしたか かなりした (1人) すこした (4人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	・毎日予習や復習をすれば、日本語が上手になります。(『みんなの日本語』)

その他

- ・このクラスは、私にとってとても役に立ちました。(『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』)
- ・先生は親切です。先生の教え方が好きです。会話の科目数を多くしてほしい。作文の科目を作してほしい。(『みんなの日本語』)

表8 後期中級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者6人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (6人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	5.0	

2. 授業のレベル ちょうどよかった (5人) よかった (1人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.8	
3. 授業の進度 ちょうどよかった (4人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	
4. 教科書・プリント とてもよかった (4人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	
5. 教え方 とてもよかった (6人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	5.0	
6. どのぐらい出席したか 80%～100% (6人) 60%～80% (0人) 40%～60% (0人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (2人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (0人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (0人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (2人) すこしした (3人) ぜんぜんしなかった (1人)	—	

表9 後期上級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 45人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (32人) よかった (11人) ふつう (2人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	<ul style="list-style-type: none"> ・興味深い授業でした。(読解A) ・読んだテキストが読解の教科書から取られたものではなく、新聞や雑誌から、あるいは本から取られたものでとても面白かったです。(読解B) ・おもしろいテーマで授業することができて、本当によかったです。(読解B) ・授業で読んだテキストはとても面白かったです。(読解B) ・毎回の内容は異なり、科学、映画、美食などの内容である。おもしろかった。(読解B) ・内容はおもしろかったです。読解の能力を高めるのを助けた。(読解B)

	<ul style="list-style-type: none"> • すごく勉強になりました。論文の書き方をしっかり勉強しました。(作文) • 文章を作るときに役に立ちました。(作文) • とてもおもしろくて、日常生活で役に立ちます。勉強になりました。(会話) • 内容はおもしろかった。話すことがいっぱいできて、嬉しかったです。(会話) • 外国人留学生にとって実用性がある。(会話) • 文法について勉強してから、すぐさっき勉強した文法の練習をして、それからすぐ問題について説明したほうがいいと思う。(文法) • 互いに話し合っ、文法を使った文章を作るのは面白かったです。(文法) • 文法の授業だが、もしやり方をもうすこし多様化させる方法があればもっとおもしろくなると思います。(文法) • 自分で使い方の例文を作り出して、それをきっかけに、各国の習慣のことを教えてもらったのが楽しかったです。(文法) • とても面白かった。(表現技術) • とても勉強になりました。(表現技術) • たくさん敬語を勉強しました。すごく助かりました。(表現技術) • まちがしやすい敬語の説明が役に立つと思います。(表現技術) • 科学や、文化や、いろいろ分野を含めて、とても豊富でした。(日本文化) • 日本だけではなく、世界のいろんな知識が勉強できた。ビデオもおもしろかった。(日本文化) • この授業はとても面白かった。たくさんのことを学んだ。内容も幅広かった。クラスで討論するのが一番よかった。(日本文化) • 内容が豊富です。(日本文化) • 必要なテーマに関する漢字やその語彙を勉強するのが役に立つと思います。(漢字) • 1回の授業をとることによって覚えなければならない漢字がちょっと多かったと思いました。(漢字) • とても勉強になりました。また、日本の事実について記事が使用されましたので、実用的知識を得ることができました。(漢字) • 本の中の内容も生活の中の内容も含まれていたの、たくさん漢字を勉強しました。おもしろかったです。(漢字)
<p>2. 授業のレベル ちょうどよかった (28人) よかった (16人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	<p>4.6</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今、自分の日本語能力は1級と2級の間であり、授業のレベルはちょうどよかった。(読解A) • 今度授業を受けるときはもっと難しい内容を勉強したいです。(読解A) • 外国人に合わせたテキストではなく、日本人向けのテキストを読むのが役に立ったと思います。(読解B) • 最初は簡単なテキストから始めて、それから新聞の記事や小説などを読んでよかったと思います。(読解B) • 最初は難しかったです。(読解B) • 最初は難しかったですが、先生のおかげで、だんだん簡単になったと思います。(作文) • 最初は難しかったです。(文法)

		<ul style="list-style-type: none"> ・今、私のレベルは1級と2級の間だから、この授業のレベルはちょうどよかった。(文法) ・新しい文法も勉強したし、前に勉強した文法も復習できました。(文法) ・想像したよりちょっとやさしかったですが、N1の復習には役に立ったのではないかと思います。(文法) ・難しくないと思います。(表現技術) ・プリントがあるから、ビデオを見られるから、そんなに難しくなかった。(日本文化) ・先生から新しい日本語の表現ができて、うれしかった。(日本文化) ・この授業のレベルは私の日本語のレベルより高いです。だからちょっと難しいと思います。(日本文化) ・時々難題が与えられますが、新しい分野、未熟なことに会い、考えさせる場を作っていただいてありがたいと思っています。(日本文化) ・1級の漢字を勉強したことがありますが、もう1年間経って、段々忘れてしまう傾向があったので、復習や学習には相応しいレベルだったと思います。(漢字) ・初級から上級まで、ずっと勉強し続けているので、そんなに難しくなかったです。(漢字)
<p>3. 授業の進度</p> <p>ちょうどよかった (30人)</p> <p>よかった (8人)</p> <p>ふつう (7人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	<p>4.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もうちょっと速くなくても大丈夫です。(読解A) ・自分のせいで最初はちょっと速かったですけど、慣れてきたから、そんなに速くない。(読解B) ・すごくいいと思います。(作文) ・ぜんぜん速くないと思います。(作文) ・先生は学生の反応によって適切な速さで進めた。(会話) ・ずっとよかったです。(文法) ・文法を勉強したり、文法の文の内容についてしゃべったり、この感じがいいと思います。(文法) ・クラスで色々なレベルの学生がいますから、皆が分かるのに授業の速さはよかったです。(文法) ・時にはちょっとおそかったが、だいたいよかったです。(文法) ・よかった。(表現技術) ・はやくないと思います。(表現技術) ・ビデオのスピードが速かったけど、先生に説明していただいたので、よく理解できました。(日本文化) ・1回の授業で一つのテーマをめぐって討論し、新しい知識を学び、スピードはちょうどいいと思う。(日本文化) ・実はちょうどいい速さだと思うが、もっと多くの内容に触れたいです。(日本文化) ・ちょっと速かった気がします。(漢字) ・予習したら、先生がおっしゃった内容が理解しやすい。速くないと思います。(漢字)
<p>4. 教科書・プリント</p> <p>とてもよかった (27人)</p> <p>よかった (16人)</p> <p>ふつう (0人)</p> <p>あまりよくなかった (1人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (1人)</p>	<p>4.5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もし教材の中に、名人のスピーチとか、おもしろい話があれば、もっといい。(読解A) ・教科書より普通のテキストが読めてよかったです。(読解B) ・資料がよかったです。(作文) ・「序論」「本論」「結論」をわけて、レポートの書き方を教えてくれる方法がいいと思う。(作文)

	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強になりました。(作文) ・N1とN2両方あるので、よかったと思います。(文法) ・1級の実際の問題を入れたほうがもっといい。(文法) ・あまりよくなかった。授業中使った教科書よりもっといい教科書があります。使った教科書での文法の教え方はあまり詳しくなかった。(文法) ・教科書以外に文法の勉強に使える普通の文章とか、日常会話のプリントも使用しながら展開したほうが良いかもしれません。(文法) ・教科書を買わなかったのが、ちょっと不便でしたが、友達と一緒にその本を使っていたら大丈夫でした。(文法) ・授業でもらったプリントはとても役に立つと思う。(表現技術) ・材料がすごく助かりました。(表現技術) ・材料がとても面白かったです。興味深くて、勉強すればするほど、面白くなって来ました。(日本文化) ・いいと思う。(日本文化) ・多様な教材が使われて、内容も豊かでした。先生のいろいろな工夫に感謝しています。(日本文化) ・授科書や予習シートが良かったと思います。(漢字) ・内容はおもしろくて、勉強になりました。(漢字) ・『Intermediate Kanji Book』はとても面白くて、いい教科書なので、それを使って勉強してよかった。(漢字) ・教科書を使わないので、毎回先生からプリントを用意していただいて、ありがたいです。(漢字) ・日常生活に近いので、そのぐらいの漢字を勉強すれば、役に立つと思います。勉強したいなあと思っています。(漢字) ・ぜんぜんよくなかった。正直、本の値段も高かったけど、そんなに使ったとは思わない。そして本の内容も見ても逆になんかむずかしい。(漢字)
<p>5. 教え方 とてもよかった (38人) よかった (7人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	<p>4.8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が大好きです。(読解A) ・わからないところを全て教えてもらえてよかったです。(読解B) ・皆が積極的に授業を受けるように教え導いて下さいました。それで、集中することがよくできました。(読解B) ・文章を読解するだけではなく、DVDやビデオを見せ、授業をするのはよかったと思う。(読解B) ・先生はやさしいし、まじめだし。(読解B) ・理解しやすいです。上手です。(作文) ・親切です。(作文) ・分かりやすかったです。(作文) ・先生の話が分かりやすくて、内容がおもしろくて、関心深かったです。(会話) ・先生が大好きです。(会話) ・おもしろかったです。(文法) ・私は先生が大好きです。(文法) ・別の教科書を使ったら、先生にとっても教えやすくなると思います。(文法) ・先生はやさしくて、質問に対しても親切に解説してくださってありがとうございます。(文法) ・教え方がわかりやすくてよかったです。(文法) ・いろいろな資料をもらいました。教え方が理解しやすい。(表現技術)

	<ul style="list-style-type: none"> • ビデオと材料をもらって、教え方はとてもよかった。(日本文化) • ビデオやレジメを使い、学生と一緒に考え、問題について討論して、よかった。(日本文化) • 先生の考え方は世界性があります。(日本文化) • いつもつい「なるほど」という実感をさせられました。(日本文化) • すごくわかりやすく、考えてさせる力を持つ講義でした。(日本文化) • 間違いやすいところを示され、とてもわかりやすかったと思います。(漢字) • 漢字を教えるだけでなく、プリントの内容について、質問をし、答えを聞かせていただくこともあります。(漢字) • プレゼンがあるので、見ながら勉強するのがいいと思います。日常生活の中の内容も含まれたから、すごく理解しやすい。(漢字)
<p>6. どのくらい出席したか 80%～100% (42人) 60%～80% (3人) 40%～60% (0人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)</p>	<p>欠席した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> • 専門の授業やゼミがあったから (1人) • アルバイトがあったから (0人) • 病気のため (3人) • その授業に興味がなかったから (0人) • その他 (1人)：旅行
<p>7. 予習・復習をしたか かなりした (23人) すこしした (20人) ぜんぜんしなかった (2人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • この授業を受けてから、自分の発音がよくなっています。(読解A) • おもしろかった。予習が必要だと感じている。(読解A) • 読解の文章はおもしろかった。日本語だけではなく、各方面の知識も学んだ。(読解B) • 最初は難しかったので、予習しなければなりませんでした。(読解B) • 予習しなかったら、授業を受けられなく、理解できないと思う。(作文) • 予習したほうがいいと思うから。(会話) • 会話の能力が大切だ。(会話) • 難しかったです。文法がたくさん似ているものがあるので、よく覚えられないです。(文法) • 復習のための資料はとてもよかったと思います。(文法) • 自分の教科書を持っていなくて、ちょっとしかできませんでした。(文法) • 外国人にとって、敬語などの知識が重要ですからよく勉強するべき。(表現技術) • 最初が難しかったです。勉強すれば簡単になります。(表現技術) • 復習の時間がそんなにありませんでした。(表現技術) • 授業終わったから、次の授業の材料をもらえるから、予習できる。(日本文化) • 満足。(日本文化) • 復習はしますが、予習はしようとしても、授業の内容が分からないので、予習できません。(日本文化) • 授業の前に、次の授業の内容がよく分かりません。だから予習はどのようにしたらよいかもよく分かりません。(日本文化) • 漢字が多くて、復習しないと覚えられないと思います。(漢字) • 予習シートが毎週あったので、予習したい。すごく役に立つと思います。(漢字)

その他

- もし授業の中で、少し日本語能力試験問題を練習すれば、もっといいと思います。(読解A)
- 先生と一緒に本を読んだり、問題をやったりしました。すごくおもしろかったです。(読解A)
- もし次の期も読解Bの授業があれば、また参加したいと思います。(読解B)
- テキストを読むだけではなく、ビデオを見るのはとても役に立ったと思います。(読解B)
- 今度またこの授業を取りたいです。(読解B)
- 本当に勉強になりました。今度また参加したいと思います。(読解B)
- レポートの作成に役立つ知識を得ることができました。(作文)
- 授業が楽でおもしろかったと思います。欠席したり遅刻したりして本当に申し訳ありませんでした。(会話)
- 授業の中で、20分ぐらい勉強した文法についての練習をしてから、わからない問題をすぐ先生に聞いて、先生から説明してもらったほうがいいと思います。90分 ①40分:文法を勉強(先生と学生) ②20分:練習(学生,自分でする,先生は休み) ③30分:練習の説明(先生は答え)(文法)
- もし、クラスみんなは同じぐらいのレベルでしたら、授業の内容を充実させることができたかもしれません。(文法)
- 勉強になりました。楽しかったです。(表現技術)
- この1年間日本に関することをいろいろ教えてくれて、どうもありがとうございました。(日本文化)
- もし、自分の日本語が上手になれば、日本語がべらべら話せれば、自分の考え方を皆に教えたい。しかし、いま自分の日本語はそんなに上手ではなくて、残念だと思います。(日本文化)
- この授業に参加させていただいて、すごく勉強になりました。来期もいろいろな分野の知見・知識を紹介していただくのを楽しみにしています。(日本文化)
- この授業のおかげで、日本のいろんな面についてさらにわかるようになり、とても役立つと思います。そして、先生の授業の行い方も多彩で、ディスカッションなども参加させていただいて、かなりおもしろいです。また、思考の訓練にもなると感じます。ありがとうございました。(日本文化)
- 漢字という授業が一つで、その内でグループを分けて授業が行われたが、教科書一つでみんなゆっくり時間をとって授業を行うと、もっと集中できるしいいと思うところもあります。(漢字)
- レベルで組を分けてよかった。(漢字)
- 来期の授業また取りたいと思います。今学期本当に勉強になりました。半年間楽しかったです。(漢字)
- 先生の教え方、レベル、速さなど全体的によかったと思います。しかし、個人的にはレベルに分けて授業したのはちょっとよくなかったと思います。30分授業をうけて1時間も自分で勉強したのは、わるかったと思います。(漢字)

表 10 前期のカリキュラムについてのアンケート結果 (回答者 16人)

1. 日本語課外補講をどこで知ったか (複数回答)	オリエンテーション出席者 (12人) <ul style="list-style-type: none"> • オリエンテーションの掲示を見た (4人) • 学部の教員にきいた (1人) • 留学生センターの教員にきいた (4人) • 友だちにきいた (3人) • 県費留学生の担当者にきいた (1人) オリエンテーション欠席者 (4人) <ul style="list-style-type: none"> • 学部の教員にきいた (2人) • 留学生センターの教員にきいた (2人)
2. 授業科目数の希望	今のままでいい (16人): 初級 5人, 中級 5人, 上級 6人
3. 授業科目の希望	今のままでいい (15人): 初級 5人, 中級 4人, 上級 6人 新しい科目を作ってほしい (1人): 中級 1人
4. 来期の授業時間帯の希望	専門の時間割がわからないのでこたえられない (8人): 初級 2人, 中級 2人, 上級 4人 午前 1・2 限 (3人): 初級 1人, 中級 2人 午後 3・4 限 (3人): 中級 1人, 上級 2人 いつでもいい (1人): 初級 1人 その他 (1人): 初級 1人 (実験のため, 受講するのは難しそうです)

その他

- 日本の映画を見たほうがいいです。(初級)
- 教えてくれてありがとうございます。(初級)
- 会話の練習をしたいです。(上級)

表 11 後期のカリキュラムについてのアンケート結果（回答者 11 人）

1. 日本語課外補講をどこで知ったか（複数回答）	オリエンテーション出席者（11 人） <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションの掲示を見た（3 人） ・学部の教員にきいた（4 人） ・留学生センターの教員にきいた（3 人） ・友だちにきいた（1 人） オリエンテーション欠席者（0 人）
2. 授業科目数の希望	今のままでいい（9 人）：初級 2 人，中級 2 人，上級 5 人 多くしてほしい（2 人）：初級（会話）2 人
3. 授業科目の希望	今のままでいい（10 人）：初級 3 人，中級 2 人，上級 5 人 新しい科目を作ってほしい（1 人）：初級（読解と作文）1 人
4. 来期の授業時間帯の希望	専門の時間割がわからないのでこたえられない（3 人）：初級 1 人，上級 2 人 午前 1・2 限（5 人）：初級 1 人，中級 2 人，上級 2 人（午前中に授業をしてほしいです。午後になったら、ねむくなるので。） いつでもいい（2 人）：初級 1 人，上級 1 人 無回答（1 人）：初級 1 人

その他

- ・できればこの教科書（『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』）を終えた後に、ほかの教科書を使って勉強を続けられたらいいと思います。（初級）
- ・もし授業の中で少し日本語能力試験 N 1/ N 2 の試験問題を練習すればもっといいと思います。（上級）

まず、各クラスの授業内容に関するアンケート結果については、すべて 4.0 点以上で、全体の 9 割が 4.5 点以上となっており、概ね良い評価を得ていると言ってよいだろう。

少数意見ではあるが、今後のコース改善に向けての検討材料とするために、「あまりよくなかった」、「全然よくなかった」という回答について詳しく見ておきたい。「よくなかった」という回答は、前期の中級クラスの授業進度と後期の上級クラスの教科書について見られた。

前期の中級クラスの授業進度については、「文法 B」で「よくなかった」という回答者が 2 人いた。いずれも速すぎたことを理由に挙げていた。中級クラスの授業科目の中でも「文法 B」はほかの科目よりも難易度をやや高めに設定しており、専門の学習・研究のために日本語の学習時間が十分に取れなかった受講者にとっては、授業進度が速く感じられたものと思われる。後期の上級クラスの教科書については、「文法」と「漢字」で「よくなかった」という回答者が 1 人いた。「文法」については文法の説明が詳しくなかったこと、「漢字」については内容の難しさなどがその理由として挙げられていた。いずれも上級クラスの中では日本語力がやや不足している学生からのコメントで、教科書を十分に利用できていなかったことがうかがわれる。

次に、カリキュラムに関するアンケート結果を見ると、これまでと同様、日本語課外補講に関する情報は、オリエンテーションの掲示を見て知ったという回答と、教員や友人からきいたという回答が多かった。また、授業時間帯については、「専門の時間割がわからないのでこたえられない」という回答が最も多かったが、午前と午後では、午前を希望する学生のほうが多かった。授業科目数や内容については「今のままでいい」という回答がいずれの期も最も多かった。

8 おわりに

前年度までに進めてきた日本語研修コースとの合同授業化によって、開講科目も増え、学生は多くの科目を受講できるようになった。しかし、受講対象者を広げたことによって、受講者の日本語の習熟度にはこれまで以上にばらつきが見られるようになった。日本語課外補講の受講者の中には、専門の学習や研究が忙しくて、継続的に参加できない学生もいるため、授業期間中に受講者間の習熟度の差が広がってしまうこともある。現在は、授業内容や指導方法の工夫によって対応しているが、今後受講者間の日本語の習熟度にさらに大きな開きが見られるようになった場合は、プログラム全体のクラスのレベル分けを見直すといった対応が必要となってくるものと思われる。